

大阪市立住まい情報センター イベントカレンダー

※10月現在決まっているイベントの情報です。ここに掲載されていないイベントが開催されることもあります。

＝休館日

11月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
			●文化の日			住まい情報センターオープン
7	8	9	10	11	12	13
開設記念・絵画・写真コンテスト入賞作品展示「住むまち大阪・今・未来」						開設記念シンポジウム「住むまち大阪・今・未来」
14	15	16	17	18	19	20
					「第8回 民間住宅建替セミナー」	
21	22	23	24	25	26	27
		●戦没者追悼の日				住まいのなるほどセミナー
28	29	30				

12月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
			「環境セミナー①」			
5	6	7	8	9	10	11
						18 住まいのなるほどセミナー
12	13	14	15	16	17	18
				23 ●天皇誕生日	24	25
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 ●元旦
	2	3	4	5	6	7
9	10	11	12	13	14	15
	●成人の日					
16	17	18	19	20	21	22
	「住宅産業フォーラム」					住まいのなるほどセミナー
23	24	25	26	27	28	29
30	31					「JIA連続講演会・菊竹清訓」

住まい情報センター主催イベント参加申し込み方法 ハガキまたはファックスにて、住所・氏名・年齢・電話番号・参加イベント名・手話希望(希望する場合)を明記し、締め切り日までに住まい情報センター 住居情報プラザまでお申し込みください(下記の住所、ファックス番号へ)。 ●その他の住まい関連イベントへの申し込み方法は、各主催者・事務局へお問い合わせください。

発行 大阪市 都市整備局 計画開発部 住宅政策課
☎06-6208-9224

〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3-20

編集 大阪市住宅供給公社
☎06-6242-1160

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20

11月のイベント

住まい情報センター主催

開設記念シンポジウム「都市に暮らす世紀へ」
講演:今、求められる住まい情報とは～住まい情報センターが果たす役割
パネルディスカッション:住むまち・大阪を考える
日時▶11月13日(土)13:30～17:30 場所▶3Fホール
申し込み締め切り▶11月5日(金) 定員▶300名(先着順)

開設記念 絵画・写真コンテスト入賞作品展示「住むまち大阪・今・未来」
日時▶11月6日(土)～13日(土)10:00～19:00(日曜・最終日は17:00)

住まいのなるほどセミナー
〈1テーマ講座〉「人に優しい住まい～高齢者の生活環境から考える～」
内容▶高齢者を取り巻く生活環境を中心に、建築に関わる問題について考えます。
企画・講師▶大阪府建築士会女性委員会・シルバークリエイティブ研究会メンバー
日時▶11月27日(土)13:30～18:00 場所▶5F研修室 テキスト代実費▶1000円
申し込み締め切り▶11月19日(金) 定員▶50名(先着順)

その他の住まい関連イベント

- 11月19日 「第8回 民間住宅建替セミナー」(3Fホール)
主催▶大阪市・住宅金融公庫大阪支店
事務局▶大阪市住宅供給公社 相談課
申し込み問い合わせ▶☎06-6882-7050
- 他にも開催予定があります。

12月のイベント

住まい情報センター主催

住まいのなるほどセミナー
〈連続講座〉「建築家とつくる住まい入門 第1章～住まいづくりの第一歩～①」
内容▶住まいづくりのプロセスを、建築家が解説する4回連続セミナーの第1回。
企画・講師▶日本建築家協会近畿支部住宅部会メンバー
日時▶12月18日(土)14:00～18:00(3月まで毎月1回土曜日開催)
場所▶5F研修室
テキスト代実費▶1回1000円(毎回必要)
申し込み締め切り▶12月10日(金)※3月まで4回連続受講分申し込み。
定員▶50名(1回から連続受講、先着順)

その他の住まい関連イベント

- 12月1日 環境セミナー①「実践に見る環境共生住宅」(3Fホール)
主催▶住宅産業研修財団 対象▶同財団会員と一般参加者
申し込み問い合わせ▶☎06-6252-6151 ※有料
- 他にも開催予定があります。

1月のイベント

住まい情報センター主催

住まいのなるほどセミナー
〈連続講座〉「建築家とつくる住まい入門 第1章～住まいづくりの第一歩～②」
内容▶住まいづくりのプロセスを、建築家が解説する4回連続セミナーの第2回。
企画・講師▶日本建築家協会近畿支部住宅部会メンバー
日時▶1月22日(土)14:00～18:00(3月まで毎月1回土曜日開催)
場所▶5F研修室 テキスト代実費▶1回1000円(毎回必要)
※第1回目から連続申し込みが原則です。受講者数に余裕がある場合は、途中申し込みを受け付けます。住まい情報センターまでお問い合わせください。
定員▶50名(1回から連続受講、先着順)

その他の住まい関連イベント

- 1月17日 「住宅産業フォーラム21シンポジウム/住宅産業と情報化」(3Fホール)
主催▶住宅産業フォーラム21 対象▶同フォーラムメンバーと一般参加者
申し込み問い合わせ▶☎06-6443-5323
- 1月29日 「JIA連続講演会・菊竹清訓/パネルディスカッション」(3Fホール)
主催▶JIA(日本建築家協会)近畿支部
申し込み問い合わせ▶☎06-6229-3371 ※3回連続 有料
- 他にも開催予定があります。

イベントのお申し込み・お問い合わせは

大阪市立 住まい情報センター
〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20
住まい情報センター4F 住居情報プラザ

☎06-6242-1160
FAX 06-6354-8601

平日・土曜▶10:00～19:00 日曜・祝日▶10:00～17:00
休館日▶火曜日、祝日の翌日



都市に住む・暮らす

あんじゅ

Vol.1



大阪市 住まいのガイドブック

Ange 1999年秋号

“あんじゅ”は、「安心して快適な住生活をいとなむ」ための情報誌です。またフランス語でAngeは「天使」という意味。よりよい暮らしを運んでくれる幸せの象徴をイメージしています。

■〈特集〉

大阪市立住まい情報センターOPEN!!

■住むまち・大阪STYLE

大川沿い「リバーサイドで健康的に暮らす」

■大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える 各種住宅施策のご案内

■これからの住まいと暮らしを考えるKEY WORD

第1話「バリアフリーからユニバーサルデザインへ①」



大阪市立 住まい情報センター

本誌は再生紙を使用しています。

あんじゅ Vol.1 1999年秋号 平成11年10月25日発行

楽しい暮らしと快適な住まいを探しに行こう!

人と住まいを結ぶ情報発信基地

大阪市立住まい情報センター

地下鉄天六駅に直結して11月6日(土)オープン!

いよいよ平成11年11月6日(土)、「大阪市立住まい情報センター」がオープンします。ここでは、住まいをテーマにした多彩な情報を発信し、よりよい暮らし、まちづくりを進めていく最先端の拠点。住生活の新しい発見や、欲しかった住まいの情報をキャッチしてください。

今回オープンする大阪市立住まい情報センターでは、大阪市内の各種住宅情報サービスを集約化して提供するとともに、住まいに関する相談やコンサルティング、セミナーやワークショップの実施などによって、安心して暮らせる魅力的な「住むまち・大阪」づくりをサポートしていきます。

フロアは、「住情報プラザ」「ホール」を中心に構成されるほか、「大阪市住宅供給公社」「子育ていろいろ相談センター」を併設。平成13年春には「住まいのミュージアム(仮称)」もオープンする予定です。

場所は、天神橋六丁目。1階には商店街のアーケードと一体になったエントランス

が設けられます。また、地下1階は地下鉄「天神橋筋六丁目」駅と直結、と利便性の良さも魅力の一つです。こうして大阪ならではの活気ある街に、新名所がまた一つ誕生することになりました。

大阪市立住まい情報センターは、大阪で暮らしたい、もっと快適に楽しく暮らしたい、住生活について困ったことを解決したい、というニーズにお応えする、誰もが利用できるオープンな施設です。対象とするのは、けっして大阪市内に住む人だけではありません。気軽に訪れて、よりよい暮らしづくりにぜひお役立てください。



ご利用案内

- 所在地/大阪市北区天神橋6丁目4-20
- 開館時間

	4F住情報プラザ	3Fホール・5F研修室
平日・土曜日	10:00~19:00	10:00~21:00
日曜日・祝日	10:00~17:00	10:00~17:00

- 休館日/火曜日、祝日の翌日および年末年始(12/29~1/3)
- 交通/地下鉄増線または地下鉄谷町線「天神橋筋六丁目」駅3号出口より直結
- お問い合わせ/平成11年11月1日より、大阪市立住まい情報センター ☎06-6242-1160



住情報プラザ

このフロアでは、大阪市内の公的住宅から民間住宅まで、幅広い物件情報を提供するとともに、相談・コンサルティングを実施。住まいに関するさまざまな悩みや疑問に、相談員がお答えします。また、住まいや大阪の暮らしに関する本や雑誌、ビデオなどを揃えた、吹き抜きの円形ライブラリーは、住まいの情報にゆったりと触れていただくスペース。楽しみながら情報収集できる、住まいの専門図書館です。また5階には、学習会や交流会などにご利用いただける研修室も備えています。



ホール・研修室は一般の方にもご利用いただけます
 3階のホールは、約300名収容。市や会社の住宅募集説明会や抽選会、住まいに関する催しものほか、イベント会場として一般の方々に広くご利用いただくことができます。利用規則、申し込み方法、料金などは、大阪市立住まい情報センターへお問い合わせください。

大阪市住宅供給公社では融資や助成制度を取り扱います

公社分譲住宅や賃貸住宅の供給をはじめ、多くの市民のみなさんにご利用いただいている大阪市の「新婚世帯向け家賃補助制度」や「民間マンション購入資金融資制度」など、住まいに関する各種制度の受け付けや、公的賃貸住宅の入居者募集を行います。センターと一体になって、いちだんと利用しやすくなります。

子育ていろいろ相談センターが悩みや不安の解消をお手伝いします

ここでは、子育ての悩みや不安を軽減・解消するために、専門の相談員がアドバイス、コンサルティングを行います。情報提供コーナーや相談室のほかに、保育室や調理実習室も設けられ、親子のよりよい関係づくり・生活づくりを応援。センター利用者のための一時保育も行います(民生局)。

住まいのミュージアムは住まいと暮らしの歴史体験ゾーンです

9階には江戸時代の大坂のまちなみを実物大で再現。1日の移り変わりや季節の変化の演出で、当時の大坂の暮らしぶりをリアルに体験していただけます。8階では、明治以降の大坂を代表する典型的な住まいや暮らしの移り変わりを、精密な模型やからくりしかけ、映像などで紹介します。

※3階には、大阪ガス集合住宅提案プラザ「APTECH」が開設されます。

大阪市市長 磯村隆文

大阪市では、「住・職・遊」という機能のバランスのとれた、快適で住みやすい都市をめざし、様々な施策を進めています。特に、にぎわいと活力あるまちづくりを推進するうえで、「住」機能の充実が重要な課題で、積極的に良質な住宅の供給に努め、良好な住環境を整備するなど、総合的な住宅施策を進めております。

近年、住まいに対するニーズはますます高度化・多様化し、単に住宅建設を進めるといったハード面だけでなく、住環境の魅力や居住関連施設・サービスの充実・向上など、ソフト面も含めた幅広い居住施策の展開が求められています。

こうしたニーズにこたえて、住まいに関する様々な情報を提供する「住まい情報センター」が、21世紀の「住まい」や「暮らし」を支える拠点として、大阪の発展と市民生活の向上に大きな役割を果たしていくことを期待しております。

今後とも、「魅力ある大都市居住」を実現するまちづくりを推進してまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成11年10月

「住情報プラザ」のご案内

- 物件情報・施策情報を提供します**
相談カウンターや来館者用情報端末コーナーで、大阪市の住宅施策や助成制度、公的住宅の物件情報をご案内します。また、関連団体カウンターでは、大阪市内の民間住宅や公団住宅の物件情報を入手できます。
 - 相談・コンサルティングを行います**
相談カウンターで、住まいに関する一般的な相談から、法律・税務・建築などの専門的な相談まで、幅広い相談を受け付けます。相談の内容によって、専門家相談(相談ブース)を予約いただけます。電話でのご相談も受け付けます。
 - 住まいのライブラリーを設けています**
吹き抜け空間を利用したライブラリーには、住まいに関する図書、大阪の暮らしと文化に関する図書、住まいの絵本・学習参考書など、住まいの学習に役立つ図書・資料を揃えています。雑誌やビデオも多数。自由に閲覧いただけます。
 - 学習・交流の場を提供します**
ホール(3階)や研修室(5階)で、住まいに関するさまざまなセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを開催します。ホール・研修室は、住まいに関する催しをはじめ、一般の方々の活動の場としても、ご利用いただけます(有料)。住情報プラザが窓口です。
- その他、パネル展示コーナーでの定期的なパネル展の実施や、打ち合せコーナーの提供など、情報拠点としてのさまざまなメニューがあります。

大川沿い 「リバーサイドで健康的に暮らす」

「住むまち・大阪STYLE」では毎回、大阪市内のさまざまなスポットやシーンを取り上げ、都市での快適な住まい方、魅力ある暮らし方を見つけていきます。第1回の今回は、「水の都・大阪」ならではの、ともいえる水と緑に恵まれた大川沿いのエリアをクローズアップ。川辺の風景が心を癒し、川沿いに広がる緑豊かな公園が健康的ライフスタイルを後押ししてくれるリバーサイドの住環境に注目します。大川沿いのエリアを歩き、そこで暮らす人びともお話を伺ってみました。



都島橋から飛翔橋方面を眺める。橋の向うに見えるのは「ベル・パークシティ」。

大川に沿って広がっているのは、春になれば桜の園になる毛馬桜之宮公園。園内には、天神橋を起点とし、大川から淀川沿い、そして万博公園までの全長約20kmに及ぶ「北大阪サイクリン」が走っています。

このサイクリングロードは、地元の人びとには、通勤や通学のための日常的な自転車道としても親しまれています。また、公園を通過して天神橋筋やJR桜ノ宮方面へ歩く人の姿を見ることがめずらしくありません。このように、このエリアに住む人びとの生活には、川と川辺の公園がごく自然に関わっています。

ランニング派やウォーキング派にとっては、ベル・パークシティのある友瀨町あたりから公園を経て都島橋にかけて、または毛馬開門から淀川河川敷へ向かい鳥飼大橋で折り返すコースなど、それぞれの住むまちから思い思いのコースを選べる格好のロケーションでもあります。こうして体力や気分に合わせて走るのも約4kmに及ぶ大川沿いのエリアならではの魅力です。また、公園を訪れるのは、日課としてランニングやウォーキングする人たちがばかりではありません。釣り糸を



毛馬桜之宮公園内の自転車道。緑に包まれて走ると気分も爽快。

垂れる人、遊具で遊ぶ子どもたち、ゲートボールを楽しむ人もいます。ゆったりとくつろぐ人から、本格的なトレーニングに勤しむ人まで、「健康的ライフスタイル」といっても、その方法や目的はさまざまです。だからこそ、自分に合ったスタイルが選べ、身構えず、無理なく健康的な生活を実践できる身近な「水と緑のある公園」の存在がここには生きています。

理屈抜きに、リバーサイドの風景は、私たちの心をリラックスさせ、癒してくれます。また、健康を保つためには、自然と関わり、変化を感じとりながら、心身をコンディショニングすることも大切です。このような観点からも、「自然」と「生活圏」がほどよく接し、「親水性」に恵まれたリバーサイドは、とても魅力的です。水の流れ、風、花や木々の移り変わりを身近に感じながらの暮らし——「健康」をキーワードとする時、リバーサイドの住生活スタイルは、一つのヒントを与えてくれています。



大川西岸「淀川リバーサイドタウン」の「さざなみプラザ」。



源八橋から「桜宮リバーシティ」を望む。



OAPと天神橋筋商店街とを結ぶ東西の道は古くからお寺が集まる寺町通。



天満宮への参道であった老松通はこのエリアから西、梅田方面に向かっていく。古い町屋や古美術店などがあって情緒があるところ。



現在のお住まいに暮らして約1年半。「最近、商店街になじみのお店もできました」という菅家さん。

天神さんに隣接する住まいから 自転車に乗って爽やかな職住近接生活

菅家克子さん



実はご自宅は名張市。現在のお住まいは、事務所のある大阪でのウィークデイのみの生活拠点で、週末はご家族の住む自宅へ戻る、という生活スタイルが続いている。

現在菅家さんがお住まいになっているのは、大阪天満宮の境内を見下ろせる場所にあるマンション。「朝早くから、拍手(かしわで)をうつ音が聞こえる部屋。それもすごく気分がいいんですよ」といわれます。

建築家としてご活躍の菅家さんは、船越町にあるご自分の設計事務所へ自転車で通勤。天神橋筋商店街を抜け、「10分はかからない」という職住近接のライフスタイルを実践しています。「食べ物屋さんや商店が多くて便利。気さくな雰囲気も気に入っています」とも。

天神橋からの眺めも爽快。「水と緑のある、きれいな景色を見ると、ゆったりとした気分になります。職住近接の良さかもしれませんね。川を越えることでプライベートと仕事の気持ちの切り替えもできて、ストレスも少ないんです」。

実は以前のお住まいも、やはり大川沿いの街の一つ、桜宮リバーシティでした。「当時は自転車で大川沿いの桜之宮公園を自転車で通っていました」という菅家さん。大阪市内の中心街にほどよく近い大川沿いのエリアならではの、心身ともにヘルシーな生活スタイルです。



菅家さんが毎朝通るといふ天神さん(大阪天満宮)。



庶民的なお店が立ち並び天神橋筋商店街。

水上バスを利用した通勤で 水の都ならではの安らぎの時間

三木啓正さん



奥様と娘さんとの3人家族。「子どもが小さい時にはよく公園にも出かけました」といいます。

リバーサイドともぶちにお住まいの三木さんは、天満橋近くのオフィスまで水上バスを利用して通勤しているという、こだわり派。「毎朝、乗船している20分間はとてもリラックスできる時間です。新聞を広げたり、前日、少しだけやり残した仕事をしたり。窓から見える風景がとても気持ちいいですね。季節感がすごく感じられるし、街の移り変わっていく様子を見るのも楽しいです」。

都市再開発事業、まちづくりを手がける建築コンサルタントとして、忙しい毎日を送る三木さんだけに、水上バスに乗っているひとときは「とても安らぐ時間」だといいます。

現在のお住まいで暮らすようになって約16年。「川沿いの公園には、ところどころに児童遊園もありますし、バーベキューができる場所もある。身近なところに、こうして水辺があって、遊べる環境が整っているのはいいですね」。



始発の「リバーサイド友瀨港」から「天満橋港」までは約20分。天気の良い週末の休日活動には川沿いの道を自転車で通ってオフィスまで出かけることもあるという三木さん。

リバーサイドの街に暮らして15年 週に3日は大川で釣りを楽しむ

門田一郎さん



この日も午後から約2時間釣って、コイ1匹とフナ3匹の釣果。

飛翔橋のたもとで釣りを楽しんでいるのは、さざなみ団地に住んで約15年という門田さん。「週に3日くらい、お昼から来て釣っていることが多い」そうです。こうしてのんびりと自然と向き合えるのも、リバーサイドの街ならではの魅力。「好きな釣りができるのも、近くに住んでるからこそ」という門田さん。ちなみに、ここでは「ニゴイやフナがよく釣れる」のだそうです。

毛馬桜之宮公園を起点に 3日に1度は川沿いを走る

山田さん

友瀨町の山田さんは、このまちに住んで20年。「時間帯は特に決めてはいませんが、朝か夕方が多いですね」と、3日に1度は毛馬桜之宮公園から豊里大橋までの往復約10キロのランニングを続けているそうです。

「川沿いに公園があって、ランニングのコースとしては最適」と山田さんもうとおり、公園には早朝4時頃からジョギングをしたり散歩をしたりする人がたくさん訪れています。

大阪市 住まいのガイド

※大阪市住宅供給公社の電話番号は11月1日以降のものです。

公的賃貸住宅を借りたい

●市営住宅(公営住宅)

住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。

	収入基準	募集時期	居住条件	お問い合わせ先
一般世帯	5,103,999円以下	毎年2月・7月頃の予定	大阪市内にお住まいか、お勤めの方。空家募集は市内にお住まいの方に限られます。	大阪市住宅供給公社 賃貸課 募集係 ☎06-6882-7024 ☎06-6882-7021
高齢者・身体障害者世帯等	6,123,999円以下			

※表の収入基準は、標準4人家族の基準で、収入のある方が1人かつ給与取得のみの場合の年間総収入金額です。ご家族の状況等によりそれぞれ収入基準は異なってきますので、詳しくは担当窓口までお問い合わせください。

※募集時期は変更される場合があります。それぞれの担当窓口までご確認ください。また、別枠募集については、右頁を参照ください。

●中間層向け住宅

公営住宅の収入基準を超えている方など、中間所得者層向けの賃貸住宅です。

	収入基準	募集時期	居住条件	お問い合わせ先
市営すまいりんく 大阪市が直接建設・管理する住宅です。	5,100,000円以上～ 10,581,052円以下	毎年2月・7月頃の予定 空家(一部)は随時募集	大阪市内にお住まいか、お勤めの方。	大阪市住宅供給公社 賃貸課 募集係 ☎06-6882-7024 ☎06-6882-7021
市営特定賃貸住宅 (空家募集)	5,100,000円以上～ 8,986,666円以下	毎年2月・7月頃の予定		
公営すまいりんく 大阪市住宅供給公社が建設・管理する住宅です。	5,100,000円以上～ 10,581,052円以下	新築は年1回程度。 空家は随時募集	大阪市内にお住まいか、お勤めの方。	大阪市住宅供給公社 賃貸課 募集係 ☎06-6882-7024 ☎06-6882-7021
大阪市住宅供給公社賃貸住宅	5,100,000円以上			
民間すまいりんく 公共と民間が連携して中間所得者層向けの賃貸住宅を供給しています。	5,100,000円以上～ 10,581,052円以下	新築は年4回程度。 空家は同上。	大阪市内にお住まいの方も申し込みます。	大阪市住宅供給公社 賃貸課 募集係 ☎06-6882-7025 ☎06-6882-7021

※表の収入基準は、標準4人家族の基準で、収入のある方が1人かつ給与取得のみの場合の年間総収入金額です。ご家族の状況等によりそれぞれ収入基準は異なってきますので、詳しくは担当窓口までお問い合わせください。

※募集時期は変更される場合があります。それぞれの担当窓口までご確認ください。

※市営すまいりんく2月・7月募集において申込件数が募集戸数に達しなかった区分については随時募集を行います。

※民間すまいりんくのうち大阪市長が指定する民間法人が管理する住宅については、原則として供給公社が管理する住宅の募集月以外の月に募集されます。

詳しくは、大阪市住宅供給公社 民間住宅課 指定法人係 ☎06-6882-7056までお問い合わせください。

●その他の公的住宅

	募集時期	お問い合わせ先
都市基盤整備公団 賃貸住宅	新築一随時 空家(待機者)-年4回(5・8・11・2月頃)の予定 空家(窓口受付)-先着順の受付団地もあります	総合募集センター ☎06-6346-3456(代表) かるがもセンター ☎06-6346-4600(テレホンサービス)
府営住宅	総合募集-毎年5月・11月頃の予定 住宅因窮度判定募集-毎年9月頃の予定 シルバーハウジング-車いす常用者世帯向け住宅募集-毎年6月・12月頃の予定	(財)大阪府住宅管理センター 募集サービス課 ☎06-6944-2197 府営住宅テレホンサービス ☎06-6945-6000
大阪府住宅供給公社 賃貸住宅	年3回(3～5月、7～9月、11～1月頃)の予定	大阪府住宅供給公社 管理課 ☎06-6203-5451(代表)

分譲住宅を売りたい

●大阪市住宅供給公社分譲住宅

長期・低利融資や利子補給の制度があります。

制度名	内容	融資限度額	年利	お問い合わせ先
大阪市住宅供給公社分譲住宅頭金融資制度	住宅金融公庫融資に加えて、大阪市独自の長期・低利融資(20年以内)のあっせんが受けられます。	1500万円、一次取得者の場合、300万円の加算があります。	当所5年間2.43%、6年目以降2.85%	大阪市住宅供給公社 分譲課 ☎06-6882-7027 ☎06-6882-7021
大阪市地域優良分譲住宅利子補給制度	住宅金融公庫の基本融資借入れ残高に対して、大阪市が当初5年間、1%(または0.5%)の利子補給を行います。			

●民間分譲マンション

長期・低利融資が受けられます。

制度名	内容	融資限度額	年利	お問い合わせ先
大阪市マンション購入資金融資制度	市内の良質な民間分譲マンション購入の際に、住宅金融公庫融資に加えて、大阪市独自の長期・低利融資(25年以内)のあっせんが受けられます。	新築/1200万円(専有面積90㎡以上/1400万円)、中古/800万円、一次取得者の場合、新築300万円、中古200万円の加算があります。	当初5年間 2.43%、6年目以降 2.85%	大阪市住宅供給公社 相談課 ☎06-6882-7050 ☎06-6882-7051

●その他の分譲住宅

制度名	内容	お問い合わせ先
大阪市再開発分譲住宅	阿倍野再開発地区で建設された分譲住宅を購入の際に、住宅金融公庫融資に加えて大阪市独自の長期・低利融資(25年以内)のあっせんが受けられます。	大阪市阿倍野再開発事務所 経営課 ☎06-6633-8776 ☎06-6633-8079
都市基盤整備公団分譲住宅		総合募集センター ☎06-6346-3456(代表)

新婚の方へ

●新婚世帯向け家賃補助制度

市内の民間賃貸住宅に入居する新婚世帯に、家賃の一部を補助します。

[申込条件] 過去2年以内に結婚した方、または、当年度内に結婚予定の方で夫婦いずれも40歳未満の方。収入制限があります。

[補助額] 家賃の実質負担額(家賃一住手当)と5万円の差額で、月額2万5千円が上限です。

[補助期間] 結婚後1年以内の方は最高6年間、結婚後1年を超え2年以内の方は最高5年間。

[受付期間] 随時

[お問い合わせ先] 大阪市住宅供給公社 助成課 ☎06-6355-0355 ☎06-6355-0351

●大阪市マンション購入資金融資の優遇

新婚世帯に対して、融資利率の引き下げを行います。

[年利] 一般 当初5年間/2.43% 6年目以降/2.85%→

新婚 当初7年間/2.28% 8年目以降/2.85%

[受付期間] 随時

[お問い合わせ先] 大阪市住宅供給公社 相談課
☎06-6882-7050 ☎06-6882-7051

●市営住宅の新婚別枠募集

新婚世帯に対しては、市営住宅(公営住宅、すまいりんく、特定賃貸住宅)の別枠募集を行っています。

[募集時期] 毎年2月・7月頃の予定

大阪市住宅供給公社 賃貸課 募集係

[お問い合わせ先] ☎06-6882-7024 ☎06-6882-7021

子育て世帯の方へ

●大阪市民間分譲マンション購入融資利子補給制度

市内で供給される民間分譲マンションを、公庫の融資を受けて購入される子育て世帯を対象に、公庫の基本融資額(はじめてマイホーム加算等の各種加算を除く)利子補給を行います。

[申込条件] 1.購入のために必要な資金を、公庫へ融資申込み(平成10年10月1日から平成14年3月末までの期間を対象とします。)を行い、その融資承認を受けられた方

2.公庫融資の申込日時点で、子育て世帯(小学校入学前の子供のいる世帯)であること。

[利子補給金] 公庫の基本融資額の償還元金残高に対して、年利1%以内の金額

[補給期間] 公庫融資の償還が開始された日から60カ月以内

[お問い合わせ先] 大阪市住宅供給公社 相談課 ☎06-6882-7050 ☎06-6882-7051

●大阪市マンション購入資金融資の優遇

子育て世帯に対して融資利率の引き下げを行います。

[年利] 一般 当初5年間2.43%、6年目以降2.85%

子育て 当初5年間2.28% 6年目以降2.85%

[受付期間] 随時

[子育て世帯] 申込日現在、小学校入学前の子供のいる世帯

[お問い合わせ先] 大阪市住宅供給公社 相談課
☎06-6882-7050 ☎06-6882-7051

●大阪市地域優良分譲住宅利子補給制度の優遇

子育て世帯に対して利子補給率を優遇します。

[お問い合わせ先] 大阪市住宅供給公社 分譲課

☎06-6882-7027 ☎06-6882-7021

高齢者・障害者・母子家庭の方へ

●市営住宅別枠募集

市営住宅の申込資格があり、市内にお住まいの方。

	申し込み資格	募集時期	お問い合わせ先
高齢者住宅	60歳以上の方が、配偶者、18歳未満の児童、障害者、60歳以上の方と同居する世帯。	毎年5月上旬頃の予定	民生局 高齢者福祉推進課 ☎06-6208-8051 ☎06-6202-6964
高齢者ケア付き住宅	60歳以上で、独立して日常生活が営める単身者及び、夫婦のみの世帯、または、60歳以上の親族からなる2名以上の世帯。	毎年5月上旬頃の予定	
障害者住宅	申込者または同居する親族に障害者がいる2名以上の世帯。	毎年5月上旬頃の予定	民生局 障害福祉推進課 ☎06-6208-8074 ☎06-6202-6962
車椅子常用者向け特別設計住宅	身体障害者手帳を所持する重度の肢体障害者で、車椅子を常用する方(または同居する方)2名以上の世帯。	毎年5月上旬頃の予定	
母子住宅	配偶者がいない女性と扶養しているその子ども(満20歳未満)で構成する世帯。	毎年5月上旬頃の予定	民生局 児童福祉推進課 ☎06-6208-8034 ☎06-6202-6963
親子同居募集	親世帯(60歳以上)と若夫婦世帯で、同一区内での生活を希望する方。	毎年11月頃の予定	大阪市住宅供給公社 賃貸課 募集係 ☎06-6882-7024 ☎06-6882-7021

●大阪市マンション購入資金融資の優遇

[高齢者同居] 60歳以上の方が同居される場合に200万円を限度に融資限度額の引き上げを行います。

[親子同居融資] 親と子が同居、隣居するために、自己が居住するマンション以外に子(または親)が居住するマンションを購入する場合にも融資を行います。

[お問い合わせ先] 大阪市住宅供給公社 相談課 ☎06-6882-7050 ☎06-6882-7051

●その他、貸付・助成制度

制度名	内容	お問い合わせ先
高齢者住宅整備資金貸付制度	同居する60歳以上の高齢者のために、居室や浴室などを増改築または改修する場合、工事費用の一部の貸付を行います。	(財)大阪市ホームヘルプ協会 ☎06-6543-8341 ☎06-6543-3382
高齢者住宅設備改修助成制度	65歳以上の高齢者が、居住する住宅の簡単な住宅改修を行う場合、工事費用の一部を助成します。所得制限があります。	
重度身体障害者住宅整備資金貸付制度	重度身体障害者の方が居住する住宅の日常生活上必要と認められる居室、浴室などを増改築する場合、工事費用の一部の貸付を行います。	(財)大阪市身体障害者団体協議会 ☎06-6765-5636 ☎06-6765-7407
重度心身障害者住宅設備改修助成制度	在宅の重度の身体・知的障害者の方が、日常生活上必要と認められる浴室、台所等の増改築や居室を改修する場合、工事費用の一部を助成します。所得制限があります。	各区健康福祉サービス課

老朽住宅を建て替いたい

●大阪市民間老朽住宅建替支援事業

	内容	お問い合わせ先
建替相談サービス(無料)	建物の計画、不動産の法律や税金、融資制度・助成制度などについて、職員による日常相談や専門家による定期相談を実施しています。	大阪市住宅供給公社 相談課 ☎06-6882-7050 ☎06-6882-7051
ハウジングアドバイザーの派遣(無料)	共同建替・協調建替を検討する方々へ専門家を派遣します。 (老朽建築物密集市街地整備事業区域内では、単独建替の場合にも派遣します。)	
建替計画策定費補助	補助要件を満たす共同建替・協調建替の計画策定を、一級建築士事務所や建設コンサルタントへ委託する場合、その費用の一部を補助します。	
建替建設費補助(単独建替・共同建替・協調建替)	補助要件を満たす建替事業を対象に、その1.設計費、2.除却整地費、3.空地等整備費の一部を補助します。共同建替・協調建替の場合、1～3に加えて、4.共用通行部分整備費の一部も補助します。	
建替従前居住者家賃補助	建替建設費補助の対象となる建替事業において、補助要件を満たす従前居住者が、 1.建替後の賃貸住宅へ再入居する場合、 2.再入居するまでの間、大阪市内の民間賃貸住宅に仮移転する場合、 3.建替に伴って市内の他の民間賃貸住宅へ転出する場合、 家賃の一部を補助します。 【補助額】従前家賃と従後家賃の差額の1/2以内、月額上限2万5千円 【補助期間】再入居の場合は仮移転期間2年以内および再入居後5年以内 転出の場合は転出後5年以内 ●高齢者世帯等に対しては、補助内容を優遇しています。 補助額 従前家賃と従後家賃の差額の2/3以内、月額上限3万5千円 補助期間 再入居の場合は仮移転期間2年以内および再入居後7年以内 転出の場合は転出後7年以内 (老朽建築物密集市街地整備事業区域内で再入居の場合は、さらに優遇措置があります。)	
個人住宅建替資金融資	自己居住用の老朽住宅を一定の要件を満たす耐火・準耐火構造の住宅に建て替える場合に、原則として住宅金融公庫融資に加えて大阪市独自の長期・低利融資(25年以内)のあっせんが受けられます。 (住宅金融公庫の融資が受けられない方も該当する場合があります。) 三世帯同居、借地の買取り、共同化による建替は、利率の優遇や融資額の割増しがあります。 【融資限度額】1000万円以内、三世帯同居は200万円以内の加算、借地を購入する場合は500万円以内の加算があります。 【融資利率】当初5年2.43% 6年目以降2.85% (三世帯同居と共同建替は、当初7年2.28% 8年目以降2.85%)	

住宅の耐震改修工事をしたい

●大阪市耐震改修資金融資制度

民間住宅の耐震強化のため、住宅金融公庫の耐震改修融資を受けて耐震改修工事をする方に、公庫融資に加えて、大阪市独自の長期・低利融資(25年以内)のあっせんを行います。
【融資限度額】470万円 他の公的融資と併せて1000万円を限度とします。
【年 利】当初5年間2.43% 6年目以降2.85%
【お問い合わせ先】大阪市都市整備局 住宅助成課 ☎06-6208-9225 ☎06-6202-7064

耐火建築物を建設したい

●大阪市都市防災不燃化促進融資制度

災害時の広域避難場所への避難路のうち、融資対象路線の沿道30mの範囲に、一定の要件を満たす耐火建築物を住宅金融公庫等の公的融資を受けて建設される方に、長期・低利の融資をあっせんします。
【融資限度額】1400万円 標準的な建設費の80%から公的融資を差し引いた額
【年 利】当初7年間2.28%、8年目以降2.85%
【お問い合わせ先】大阪市都市整備局 市街地建築課 ☎06-6208-9229 ☎06-6202-7064

●大阪市都市防災不燃化促進事業制度

東野田茨田線(鶴見通)の蒲生4丁目～諸口6丁目、新庄大和川線(内環状線)の上新庄2丁目～豊里3丁目の道路境界線から奥行き30mの範囲で、一定の要件を満たす耐火建築物を建設する方に、建設費の一部を補助します。
【お問い合わせ先】大阪市都市整備局 市街地建築課 ☎06-6208-9229 ☎06-6202-7064

賃貸住宅を修繕したい

●大阪府住宅改良資金融資あっせん制度

大阪府下の賃貸住宅の増改築、修繕などに対し、大阪府が融資あっせんを行います。
【お問い合わせ先】大阪市内分は 大阪市都市整備局 住宅助成課 ☎06-6208-9225 ☎06-6202-7064

土地を活用したい

●賃貸住宅を建設し、住宅供給公社等に管理してもらいたい方

民間すまいりんぐ

民間の土地所有者の方々が中堅所得者層を入居の対象とした優良な賃貸住宅を建設される場合に、その建設費の一部や入居者に対する家賃の減額に要する費用を、国と大阪府が民間の土地所有者の方々に補助する制度です。また民間すまいりんぐの管理は、大阪市住宅供給公社や大阪市長の指定する法人などが、管理受託または借上げの方式により、適正に行います。

【お問い合わせ先】大阪市住宅供給公社 民間住宅課 民間住宅係(公社管理) ☎06-6882-7055 ☎06-6882-7051
民間住宅課 指定法人係(指定法人管理) ☎06-6882-7056 ☎06-6882-7051

●賃貸住宅を建設し、自分で経営したい方

大阪市優良賃貸住宅建設資金融資

良好な居住環境と適正な家賃の賃貸住宅の供給を促進するため、大阪府が賃貸住宅を建設しようとする方に、その建設資金の融資(償還期間25年)のあっせんを行います。

また、共同建替や市が定める密集地区内の建設の場合は融資利率を優遇しています。
利率 一般 2.20%(当初1～10年) 共同建替 1.20%(当初1～10年) 密集地区 1.20%(当初1～10年)

【お問い合わせ先】大阪市住宅供給公社 相談課 ☎06-6882-7053 ☎06-6882-7051

その他の融資制度等

・住宅金融公庫(ファミリー賃貸住宅融資等)

【お問い合わせ先】住宅金融公庫 大阪支店 賃貸融資第1課 ☎06-6281-9266 ☎06-6243-2073

・都市基盤整備公団(民賃制度等)

【お問い合わせ先】都市基盤整備公団 関西支社 土地活用相談室 ☎06-6969-9062

●優良な住宅を建設し、建設費の補助を受けたい方

優良建築物等整備事業

一定基準を満たす優良な民間住宅の建築に対して建設費の一部を補助する制度です。分譲住宅も対象となります。

【お問い合わせ先】大阪市住宅供給公社 相談課 ☎06-6882-7053 ☎06-6882-7051

●安定した地代収入と将来の確実な土地返還を希望する方

定期借地権付分譲住宅

民間の土地所有者の方々の土地を借り上げ、比較的低廉な価格の良質な定期借地権付分譲住宅を提供するため、建設用地を提供していただける方を募集します。

定期借地権付分譲住宅は、土地所有者の方にとっては、安定収入が見込め、契約終了時には必ず土地が返還されるというメリットがあります。また、大阪市住宅供給公社が採用している「転貸方式」は土地所有者および住宅購入者の窓口がともに公社で、権利関係が明確な安心感のある事業です。

【お問い合わせ先】大阪市住宅供給公社 企画課 ☎06-6882-7010 ☎06-6882-7011

住まいに関する様々なご相談にお答えします

●住まいの一般相談(随時) 相談専用 ☎06-6242-1177

住まいの購入や賃借、および、大阪市を中心とした公的な住宅施策に関する、様々な質問に対して、住まい情報センターのスタッフが、電話または面接で対応します。

●住まいの専門家相談

住まい情報センター住情報プラザにおいて、「住まいの専門家相談」を実施しています。お申し込みは一旦一般相談のスタッフが内容をお尋ねして予約をいたします。

	相談日時	内容	相談資格者	予約申し込み先
税務相談	毎月第1・3土曜日 13:00～16:00	相続税・固定資産税・不動産取得税など、住まいに関する税金全般の相談	大阪市内にお住まいか お勤めの方	大阪市立住まい情報センター ☎06-6242-1177(相談専用) 受付時間 平日・土曜 10:00～19:00 日曜・祝日 10:00～17:00 【ただし、休館日(火曜日と祝日の翌日)と12月29日～1月3日を除く】 相談日の1か月前から前日まで 先着順で予約を受け付けています。
建築相談	毎月第2・4土曜日 13:00～16:00	住まいの新築や建替、リフォームに際しての、計画・設計内容・建築基準法に関する事項・工事施工上の問題など、住まいに関する建築技術上の相談		
法律相談	毎月第1・2・3・4土曜日 13:00～16:00	土地・建物・借地・借家・登記・相続など、住まいに関する法律上の相談		

大阪市サービスカウンター内の住宅案内コーナーでもパンフレットの配付等を行っています。

大阪市梅田サービスカウンター ☎06-6345-0874



大阪駅前ダイヤモンド地下街(ティアモール大阪)

大阪市難波サービスカウンター ☎06-6211-0874



地下鉄難波駅構内

大阪市天王寺サービスカウンター ☎06-6773-0874



阿倍野橋地下センター(あべちか)

バリアフリーからユニバーサルデザインへ ①

障害者や高齢者に優しいそれが「バリアフリー」の思想

ひろ 最近、「バリアフリー」ってよく聞くけど、何のことなの？

ゆか 「バリアフリー」っていうのは、「障壁排除」ってこと。難しく言えば、「社会参加の障壁となる物理的、制度的な環境を改善する」ということなのね。

ひろ っていうと……

ゆか 床の段差をなくしたり、スロープを付けて、車椅子でも楽に往き来できるようにした施設とか、このごろよく目にするでしょ。

ひろ そういえば、玄関やトイレ、お風呂なんかも手すりが付いてる。あれもそうなの？

ゆか そうそう。エレベーターや電灯のボタンとかスイッチを大きくしたり、位置を低くしてるのも、バリアフリーの設計ね。

ひろ ナルホド。



さらに一歩進んだ考え方「ユニバーサルデザイン」

ゆか でも、今は「バリアフリー」をさらに一歩進めた「ユニバーサルデザイン」の考え方が主流になりつつあるの。

ひろ ユニバーサルデザイン？

ゆか ユニバーサルデザインの基本的な考え方というのは、障害者や高齢者を特別視せず、すべての人に配慮して設計するってこと！

ひろ たしかに、「いかにも」って感じのものが結構あるもんね。

ゆか だから、手すりもカラフルにするとか、デザイン的に洗練されてることは大事なの。

ひろ 「ざりげなく、美しく、優しく」だね。

身近なところにユニバーサルデザインを

ゆか 「ユニバーサル」とは「普遍的」ってこと。小さな切れ込みを付けて、入れる方向をわかりやすくしたテレカとか、側面にギザギザを付けてリンスと区別できるようにしたシャンプーの容器なんかも、ユニバーサルデザイン

っていえるんじゃない？

ひろ 携帯電話の「5」のボタンにポッチが付いてるのもそう？

ゆか そう。でも、表示文字やボタン、ハンドルやレバーを大きくするだけでも、操作感がかなり良くなるよね。

ひろ より高い次元でみんなの快適な暮らしに役立つってことだね。

ゆか でも、モノだけじゃなくて、これからはサービスや制度などにも「ユニバーサル」な考え方が必要なの。

ひろ それなら、次回からは、この「ユニバーサル」な考え方に基づいて、もっと深く、いろんなものを見ていくことにしようよ。

ゆか そうしましょう！



ユニバーサルデザインの原則

- 1 使い勝手がよく、手に入れやすい
- 2 個々の好み、能力に幅広く対応できる
- 3 操作が簡単
- 4 商品などの情報が使用者の聞く、見るなどの知覚能力にかかわらず効果的に提供されている
- 5 誤操作をしても大きな問題にならない
- 6 使う際、大きな力がいらぬ
- 7 使いやすい大きさ

監修：田中直人（摂南大学工学部教授）

住まい情報センター応援団 メッセージ・ボード

センターの事業をサポートして下さるみなさんや利用者の方、読者のみなさんのメッセージを紹介するコーナーです。住まいと暮らしにまつわること、あんじゅに対する感想などをどしどしお寄せください。

天 六地区（天神橋筋商店街地区）に大阪市立住まい情報センターがオープンすることは、この地区のアイデンティティを確立するためにも大変意義のあることです。天六商店街振興組合では、センターのオープンにともなって、公開空地を生かした一体型のアーケードを新築。また、住まい情報センターが行う各種の事業、イベントにも積極的に参加していきたいと考えています。このほか、商店街としても独自に「都心に住もう、天六に住もう」をテーマとして、住情報を発信し、常に天六のリニューアルを図っていく予定です。大阪市立住まい情報センターが地元に住む人々と共に、益々発展しますよう、期待し、お祈り申し上げます。

天六商店街振興組合理事長
梶原敬三さん

大 阪市立住まい情報センターの事業企画・運営に携わってこられた皆様方の並々なご尽力が、ユーザーの方々に大いに親しまれ、頼りにされる住情報の一大発信拠点として結実することを確信

しています。私も、センターで、そしてこの情報誌で「大阪の住まい」についていろいろと学ばせていただきたいと思います。

住宅金融公庫 大阪支店 サービス相談課長
中原数子さん

少 子高齢社会に入った現在、都市の住まい方の多様な展開が予想されます。これからは、市民一人ひとりの住意識の向上が街を変え、住まいを変えていく時代です。その意味で、このセンターは市民に向けた「住情報発信基地」として重要な役割を担う位置にあるでしょう。私たち(社)日本建築家協会 近畿支部 住宅部会も、様々な形で参加協力させていただきたいと思っています。

(社)日本建築家協会 近畿支部住宅部会 代表世話人
小南一郎さん

い よいよ大阪市が本気で都心居住に取り組む時代がやってきた。住まい情報センターは、その大きな第一歩であり、これから次々と生まれてくる活動の拠点となろう。「あんじゅ」は単なる情報誌でなく、深く大阪にこだわった「居住文化」を語る媒体として育てほしい。

(株)ダン計画研究所 所長
吉野国夫さん

住 まいは家族の幸せの“いれもの”です。市民から頼られる住まいの情報発信基地、交流拠点である住まい情報センターは、家族の幸せづくりに貢献すると大きな期待を寄せています。このセンターの誕生と活躍で、大阪の「住まい」が大阪の誇りになることを願っています。

(財)住宅産業研修財団 大阪事務所 所長
鈴森素子さん

働 くのは大阪で！住むのも大阪で！よりよき環境を整えて、老いも若きも生きる喜びを実感できる街づくりに向けて。センターの開館にあたり、大阪府建築士会 女性委員会「シルバー研究会」「健康住宅研究会」「木の文化と建築を考える会」

でも、いくつかのセミナーを企画しています。今後も幅広く、市民のみなさまに役立つ企画や情報提供を考えていますので、ぜひご期待ください。

(社)大阪府建築士会 理事(女性委員会)
山本亮子さん

NEWS 大阪市立住まい情報センター開館イベント

住まち・大阪 新発見'99 天神橋筋界わいクイズ&ウォークラリー

338名が参加して楽しくウォーキング

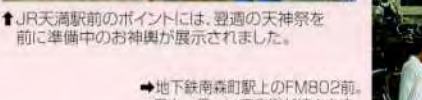
7月18日(日)、住まい情報センターの開館イベント「天神橋筋界わいクイズ&ウォークラリー」を開催。小雨まじりのあいにくの天気でしたが参加者は総勢338名。扇町キッズパークからスタートし、天神橋筋界隈の史跡や名所、あわせて23カ所に設置されたポイントを思い思いのコースで巡り、クイズに答えながら、ゴールを目指しました。

地元商店街をはじめ、多くの方々の協力で、まちを楽しめる数々のプレゼントや、地域の暮らしのお話を伺え、「楽しかった」「新たな発見があった」「勉強になった」「また企画してほしい」という感想をたくさんいただきました。

住まい情報センターでは、これからも、住まち・大阪をテーマに、誰もが参加でき、楽しめる、このようなイベントを積極的に開催していきたいと考えています。



QUIZ & shisujii WALKRALLY



大阪市立 住まい情報センター

施設の運営・情報提供を 私たちが担当します

生まれたてのセンターですが「住まち・大阪」の情報拠点に育てていけるよう、皆さまのご来館をお待ちしています

大阪市立住まい情報センター 課長 寺尾 章



相談・コンサルティング担当 龍野 豪利



住宅に関わる専門的な相談窓口を常設するのは、大阪市としては初めての試みです。住宅を買う時、借りる時などの問題解決の糸口をここで見つけていただける場にしたい、特にトラブルを事前に防ぐための適切なアドバイスができればと考えています。

普及啓発・広報担当 弘本由香里



住まい情報センターでは、セミナーやワークショップなどを通じて情報発信を行います。大阪に住んでいても意外と知らない大阪の魅力を見つける機会や、住まいの専門家との出会いなど、住まち・大阪づくりに向けて実りのある イベントを今後もたくさん実施していく予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

ホール・研修室担当 橋本 毅



約300人を収容することのできるホールは講演会やシンポジウムなどに、また研修室は勉強会などに、それぞれご利用いただくため、市民のみなさんにも広く開放します。立地にも恵まれ、気軽に訪れていただけるはずですので、センターまでお問い合わせください。

住まいのミュージアム(平成13年オープン)担当 新谷 昭夫



住まいのミュージアムは、大阪の「住まいと暮らし」の専門博物館で、現在、平成13年のオープンに向けて準備を進めているところです。ただ展示物を見るだけでなく、大阪の歴史や暮らしを、訪れた人が身近に体感できる、新しいスタイルのミュージアムになる予定です。ご期待ください。

お便りやご意見ご質問をお待ちしています。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪市立住まい情報センター あんじゅ メッセージ・ボード 係
☎06-6354-8601